

Open abdomen management (OAM) における治療成績、予後因子解析

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

Open abdomen management (OAM) は、腹部外傷手術や腹部内因性疾患においてダメージコントロールとして行われている手法です。当院で OAM を施行された方の診療記録を収集し、外科治療成績、予後、予後不良因子・早期死亡因子などに関して検討します。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2011 年 1 月～2024 年 9 月に当院で OAM による治療を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、患者状態（年齢、身長・体重・パフォーマンスステータス、ASA-PS、既往疾患）、意識状態、心肺停止の有無、年齢調整 CCI (CCI; Charlson comorbidity index)、臨床検査値（血液ガスデータ、SOFA スコア、qSOFA スコア）、手術関連データ（手術時間、出血量、輸血の有無）、病理組織診断（内因性の場合）、転帰、死亡の場合の死因、筋膜閉鎖、術後合併症
使用開始予定日：2024 年 10 月 7 日

研究予定期間

2024 年 10 月 7 日～2025 年 12 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 外科 富安真二郎

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 外科 富安真二郎

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)